



我が国で輸入性黄熱患者 1 名見つかる

衛計委応急弁 www.nhfpc.gov.cn 2016-03-13 来源 :

国家衛生計生委は **03 月 13 日**、我が委員会の専門家が輸入性黄熱（宮本注：原文は『黄熱病』ですが、日本の医学会では英語の **Yellow Fever** という名称に従い黄熱と呼ぶのだと以前お聞きしました）患者を **1 名** 確診したと発表した。

患者は、浙江省人の **32 歳** 男性で、長期間アンゴラの首都ルアンダ（最近黄熱が発生していた）でビジネスをしていた。患者は、**03 月 08 日**（北京時間）に発熱が現れ、体温は最高で **39.3 度** となり、悪寒を伴った。**03 月 09 日** 航空機によりドバイ経由で **03 月 10 日 02:00** に北京に到着し、自ら病院を受診した。**03 月 11 日**、北京市疾病管理センターが患者のサンプルを調べたところ、陽性となり、同日夜再検査のためにサンプルが中国 **CDC** に送られた。その後 **03 月 12 日**、中国 **CDC** が核酸を検査した結果、当該患者を我が国初の黄熱輸入性患者と確診した。現在、患者には肝腎機能障害があり、病状が重く、積極的な治療がなされている。

北京市衛生計生部門は、中国 **CDC** が組織した専門家が輸入患者の持ち込む感染リスクに対する評価を行うのに同席した。専門家たちは、黄熱は蚊が媒介する伝染病に属しており、主にシマカに咬まれることにより感染するものであり；北京市には熱帯シマカは棲息していないため、我が国のシマカ分布主要地区とはなっておらず、また、北京市の気温は低く蚊の活動期には入っていないことから、今回の輸入性患者が更なる感染拡大を引き起こすリスクは極めて低いとしている。

現在、国家衛生計生委は、積極的に北京市の衛生計生委が関連診療方案及び予防管理要求に基づき、全力で患者の治療に当たること並びに各項予防管理措置の実施を監督指導している。北京市衛生計生部門は、党委員会の要求に基づき、しっかりと患者の治療や疫学調査、媒介蚊の緊急観測と愛国衛生運動、健康教育などの活動をしてゆく。

当該患者に関する状況については、既に **WHO** や香港特区に対し通報済みである。

注：黄熱は、蚊により伝播する急性の伝染病であり、感染は主にヒト～熱帯シマカ～ヒトである。主に、中南米とアフリカの熱帯地区で流行している。これまでアジアでは症例報告はなかった。当該感染症の主な臨床症状は、発熱や黄疸、出血などである。ヒトに感染後、約 **5～20%** に臨床症状が現れ、少数には重症化或は死亡することがある。現時点、黄熱に対する特異な治療方法はなく、対症療法及び支持治療が主となるが、ワクチン接種が最も重要な予防管理措置となる。我が委員会では既に **2008 年** に『黄熱の予防管理技術ガイド』と『黄熱の診断と治療方案』が印刷発布されている。

関連リンク：[《黄热病预防控制技术指南》](#) 和 [《黄热病诊断和治疗方案》](#)
(大作なので、別途翻訳にトライしてみます)

<http://www.nhfpc.gov.cn/yjb/s7860/201603/67202ceff58b44e3ba63db1e2bbfc1ab.shtml>

..... 以下は中国語原文

我国发现一例输入性黄热病病例

卫生计生委应急办 www.nhfpc.gov.cn 2016-03-13 来源 :

国家卫生和计划生育委员会 3 月 13 日通报，我委组织专家确诊一例输入性黄热病病例。

患者，男，32 岁，浙江省人，常年在安哥拉首都罗安达（近期发生黄热病疫情）做生意。患者于 3 月 8 日（北京时间）在罗安达出现发热，体温最高 39.3℃，伴畏寒等症状，于 3 月 9 日乘飞机经迪拜转机，3 月 10 日凌晨 2 时抵达北京，直接主动到医院就诊。3 月 11 日，北京市疾控中心检测患者标本为核酸初筛阳性，当晚将标本送中国

疾控中心复核检测。3月12日，中国疾控中心报告核酸检测结果阳性。随后，我委组织专家组根据患者流行病学史、临床表现和中国疾控中心对患者标本的复核检测结果，确诊该病例为我国首例输入性黄热病病例。目前，患者出现肝肾功能损害，病情较重，正在积极救治中。

北京市卫生计生部门会同中国疾控中心组织专家对输入病例带来的传播风险进行了评估。专家们认为，黄热病属于蚊媒传播疾病，主要通过埃及伊蚊叮咬感染；北京市无埃及伊蚊且不属于我国伊蚊主要分布地区，目前北京气温低，未进入蚊媒活跃期。因此，此次输入病例引发传播并进一步扩散的风险极低。

目前，国家卫生计生委正积极指导北京市卫生计生委按照相关诊疗方案和防控要求，全力救治患者，落实各项防控措施。北京市卫生计生部门正按照我委要求，进一步做好病例治疗、流行病学调查，蚊媒应急监测、爱国卫生运动、健康教育等工作。

该病例有关情况已及时向世界卫生组织、我国香港特区通报。

注：黄热病是经蚊传播的急性传染病，该病传播方式主要为人-埃及伊蚊-人，主要在中南美洲和非洲的热带地区流行。之前，亚洲地区无病例报告。该病临床主要表现为发热、黄疸、出血等。人感染后，约5%-20%出现临床症状，少数出现重症并死亡。目前针对黄热病无特异性的治疗方法，主要以对症治疗及支持治疗为主，疫苗是最重要的防控措施。我委已于2008年印发了《黄热病预防控制技术指南》和《黄热病诊断和治疗方案》。

相关链接：[《黄热病预防控制技术指南》](#)和[《黄热病诊断和治疗方案》](#)

20160313A 我が国で輸入性黄熱患者1名見つかる(衛計委応急弁)